

Installation Procedure

セフティーコーナー
NS-50・NS-76

施工マニュアル

2015年

 **ナカ工業株式会社**

●安全上のご注意（必ずお守りください）

- お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵指示で区分し、説明しています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると使用者が傷害を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。

表 示	意 味
	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は「分解禁止」を示しています。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は「指示実行」を示しています。

注 意

 禁 止	商品を落とさない ※商品の破損や変形、傷つきが発生し、組み立てできないおそれがあります。
 指示実行	必要十分な強度のある壁に取付ける ※壁に必要な強度がないと壁保護材が外れたり、取付け面が壊れてけがをするおそれがあります。
	この施工要領書の指示どおり施工する ※誤った施工をされた場合、壁保護材が破損したり、外れて、けがをする場合があります。
	指示どおりの取付アンカーを使用する ※他の取付アンカーを使用した場合、壁保護材が破損したり、外れてけがをする場合があります。
	取付完了後、壁保護材にガタツキがないことを確認する ※壁保護材にガタツキがあると、壁保護材が外れたり、取付け面が壊れてけがをするおそれがあります。

●確認事項

部品の確認

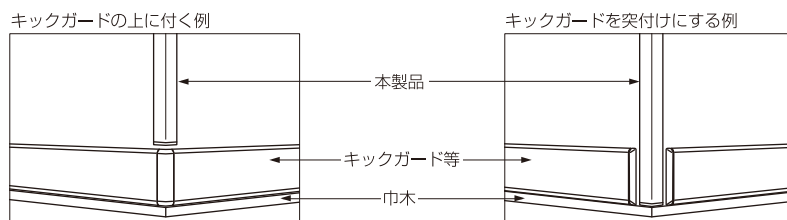
- 笠木の色、数量を確認してください。
- 笠木受の数量を確認してください。
- エンドキャップの色、数量を確認してください。
- ネジ及び使用工具の確認をしてください。

現場状況の確認

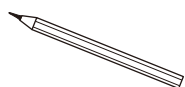
- 施工図と現場の状態が変更等でっていないか確認してください。
- 下地補強材が入っているか確認してください。
※下地補強材が入っていないか確認してください。（補強は壁仕上後に入れることはできませんので事前の打合せが必要です）
万が一補強材が入っていない場合は、現場監督者、工事担当者と打ち合わせを行ってください。

他の壁保護材との取合いの確認

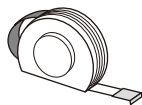
- キックガード等が取付く場合は納まりを確認してください。



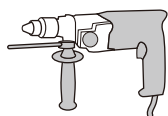
●使用工具一覧



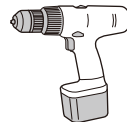
ペン



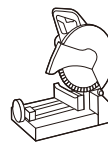
コンベックスケール



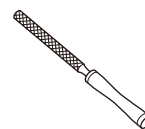
電気ドリル



電動ドライバー



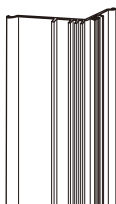
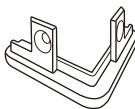
チップソー切断機



ヤスリ

●部材一覧

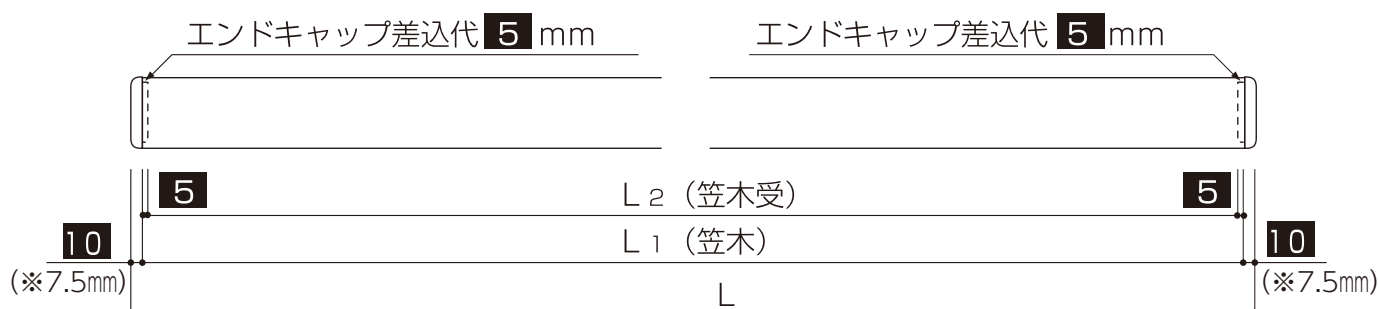
- 施工に必要な部品が揃っているか確認してください。
- 笠木受を取付けるビスは、壁下地材により異なりますので、壁下地材に適した取付けビスを使用してください。

部品名称	部品形状		定尺	材質
笠木			2.5m 3m	ブ レ ー ン 色 : 耐 衝 撃 性 硬 質 樹 脂 抗 菌 剤 入 木 目 調 色 : 超 微 粒 子 木 粉 配 合 耐 衝 撃 性 硬 質 樹 脂 抗 菌 剤 入
笠木受			2.5m 3m	耐 衝 撃 性 硬 質 樹 脂
エンドキャップ			—	耐 衝 撃 性 A B S 樹 脂
キャップ取付用ビス				サラタッピングビス 4×6
RC・下地用笠木受け 取付ビス	NS-50 タイプ		タップコンサラ頭 4×45	
	NS-76 タイプ		タップコンサラ頭 5×45	
GL・下地用笠木受け 取付ビス	NS-50 タイプ		コースレッド3.8×25 ※両面テープ併用止め	
	NS-76 タイプ		タップコンサラ頭 5×60	
LGS・下地用笠木受け 取付ビス	—		ナベ頭タッピングビス 4×40	

1 笠木・笠木受長さの算出

- ① 施工図等で指定された長さにするために、部材のカットが必要な場合はエンドキャップの長さ（下図 **白又キ寸法** 参照）を差引いて算出しマーキングを行う。（※印寸法は NS-50 の場合）

	NS-76	NS-50
L ₁ （笠木）	L-20（mm）	L-15（mm）
L ₂ （笠木受）	L-30（mm）	L-25（mm）



定尺 L₁ = 2,500mm の場合、 L₂ = 2,490mm
 定尺 L₁ = 3,000mm の場合、 L₂ = 2,990mm

※定尺をそのまま使用する場合

NS-76の場合 L = 2,520mm、 3,020mm
 NS-50 の場合 L = 2,515mm、 3,015mm

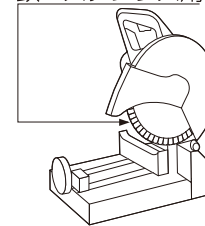
2 笠木・笠木受の切断

- ① 笠木・笠木受を切断する場合は、指定された切断機で表面を傷つけないように注意しながら部材に対して垂直に切断する。**注1 注2 注3**

❗お願い

- 注1：笠木の表面に傷を入れると補修ができませんので、取扱いには十分注意してください。
- 注2：笠木等の切断には、チップソー切断機を用い刃は鉄・ステンレス用のよく切れるものを使用してください。高速切断機は笠木使用しないでください。
- 注3：笠木等は部材に対して垂直に切断してください。斜めに切断するとエンドキャップと隙間ができてしまいます。

鉄・ステンレス用

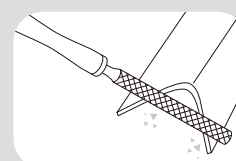


チップソー切断機

- ② 切断部のバリは棒ヤスリ等できれいに取り除く。**注4**

⚠注意

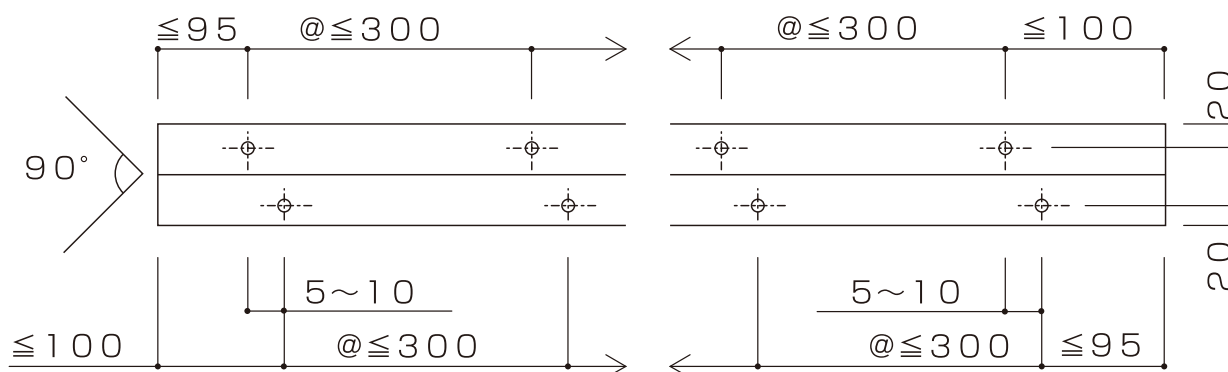
- 注4：切断面にバリ等が残っていると隙間ができ笠木等の確実な固定ができない場合があります。またけがをする場合があります。



③ 笠木受の下穴あけ

① 笠木受に規定寸法のアンカー固定位置をマーキングする。 **注5 注6**

② マーキング後、下穴をあける。 **注7**



△ 注意

注5：アンカー固定位置は、上記寸法を守ってください。

取付けピッチが大きいと壁保護材が外れけがをする場合があります。

注7：笠木受に下穴を確実に開ける事のできるドリルと刃を使用してください。ドリルの刃はアンカーにより最適な刃を使用してください。笠木受は樹脂製なので容易に下穴を開けることができます。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、芯揺れを起こすと確実なアンカー固定ができません。

❗ お願い

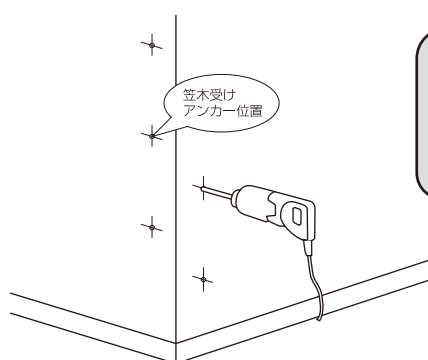
注6：取付けアンカーの位置は、ねじ長さを考慮し重ならないように $5 \sim 10$ mm ずらしてください。

④ 壁の下穴あけ

① 施工図より笠木受の取付高さを求め、壁を実測し位置をマーキングする。

② 取付ける壁面に下穴をあけた笠木受をあて、アンカー位置をマーキングする。

③ 使用するアンカーに適した寸法で下穴をあける。 **注8**

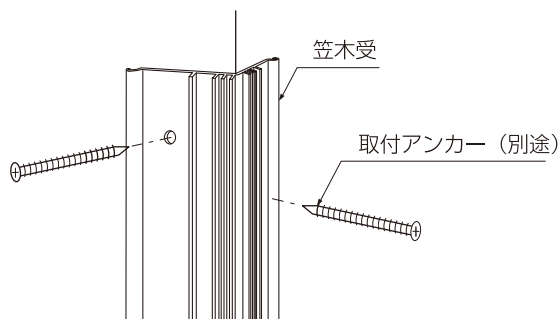


△ 注意

注8：取付け壁面に下穴を確実にあける事のできるドリルと刃を使用してください。ドリルの刃は壁の材質により最適な刃を使用してください。刃サイズが大きすぎたり芯揺れを起こすと確実なアンカー固定ができません。

⑤ 笠木受の取付け

① 笠木受を壁面の下穴に合わせ取付アンカーを工具で回らなくなるまで締付ける。 **注9**

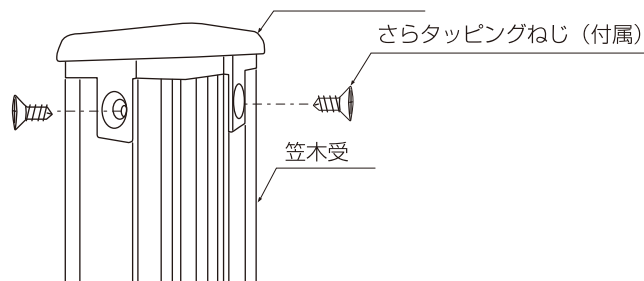


△ 注意

注9：指示どおりの取付けアンカーを使用しないと壁保護材が外れてけがをする場合があります。

6 エンドキャップの取付け

- 1 笠木受にキャップをはめ込む。
- 2 キャップのねじ穴と同じ位置に下穴をあける。 **注 10**
- 3 固定ねじを工具で回らなくなるまで締付ける。

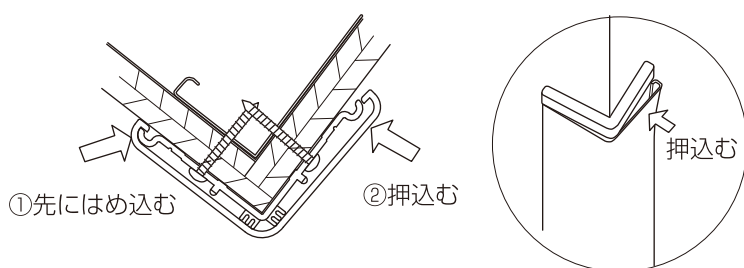


△ 注 意

注 10: 笠木受に下穴を確実にあける事のできるドリルと刃を使用してください。ドリルの刃はφ2mmを使用してください。刃サイズが大きすぎたり芯揺れを起こすと確実なアンカー固定ができません。

7 笠木の取付け

- 1 笠木を笠木受の片側にはめ込んだ後、もう一方を笠木受に押し込むようにして取付ける。



◇ 下地・アンカー例

	RC 壁下地モルタル仕上げ	RC 下地 GL 工法仕上げ	LGS 下地プラスターボード2枚貼り仕上げ
NS-50	タップコンサラ頭 4×45	コースレッド 3.8×25 ※両面テープ併用止め	ナベ頭タッピングビス 4×40
NS-76	タップコンサラ頭 5×45	タップコンサラ頭 5×60	ナベ頭タッピングビス 4×40

6 片付け清掃

- ① 取付け後、笠木が汚れている場合はアルコール・中性洗剤をふくませた布で拭き、仕上げに空拭きをして水分を完全に取除く。**注 11**
(汚れが落ちにくい場合はクリームクレンザーを用いる)

⚠ 注 意

注 11: 壁保護材の表面を傷つけるものは絶対に使用しないでください。

- 酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジン、油類などの有機溶剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど

※変色・割れ、破損するおそれがあります。

- ② 取付け現場の片付け・清掃を行い取付け完了です。